

令和5年度喜多方市社会福祉協議会事業執行状況

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 総務事業部門

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

【理事会】

- | | |
|------------|--|
| 令和5年 5月19日 | 【書面開催】
○評議員候補者（補欠）の推薦について |
| 令和5年 6月 7日 | ※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）
○令和4年度事業報告について
○令和4年度社会福祉事業会計収支決算について
○定時評議員会の開催について
理事8名、監事2名 |
| 令和5年 6月23日 | ○会長、副会長及び常務理事の選定について
理事9名、監事2名 |
| 令和5年11月 2日 | 【書面開催】
○評議員候補者（補欠）の推薦について
○令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第1次＞
（案）について
○評議員会の開催（書面）について |
| 令和5年12月18日 | ※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）
※書面提案議案の同意について
※令和5年度上期業務執行状況並びに収支状況報告について
○職員就業規則の一部改正について
○職員給与規程の一部改正について
○嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について
○令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算＜第2次＞
（案）について
○評議員会の開催について
理事10名、監事1名 |
| 令和6年 3月19日 | ※事業経過報告（会長・常務理事の業務執行状況報告）
○定款の変更について
○役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
○職員就業規則の一部改正について |

- 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算<第3次>
(案)について
- 令和6年度事業計画(案)について
- 令和6年度社会福祉事業会計収支予算(案)について
- 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算<第4次>
(案)について
- 評議員会の開催について
理事11名、監事1名

【評議員会】

- 令和5年 5月10日 **【書面開催】**
 - 理事(補欠)の選任について
- 令和5年 6月23日 **※事業経過報告(会長・常務理事の業務執行状況報告)**
 - 令和4年度事業報告について
 - 令和4年度社会福祉事業会計収支決算について
 - 理事の選任について
 - 監事の選任について

評議員17名、監事1名
- 令和5年11月15日 **【書面開催】**
 - 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算<第1次>
(案)について
- 令和5年12月26日 **※事業経過報告(会長・常務理事の業務執行状況報告)**
※書面提案議案の同意について
※令和5年度上期業務執行状況並びに収支状況報告について
 - 職員就業規則の一部改正について
 - 職員給与規程の一部改正について
 - 嘱託職員及び臨時職員雇用管理規程の一部改正について
 - 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算<第2次>
(案)について

評議員18名、監事1名
- 令和6年 3月27日 **※事業経過報告(会長・常務理事の業務執行状況報告)**
 - 定款の変更について
 - 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
 - 職員就業規則の一部改正について
 - 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算<第3次>
(案)について
 - 令和6年度事業計画(案)について

- 令和6年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
- 令和5年度社会福祉事業会計収支補正予算〈第4次〉
（案）について
- 評議員18名、監事1名

(2) 監事会の開催並びに内部監査、会計指導の実施

【監事会】

- 令和5年 5月23日 ○令和4年度事業並びに社会福祉事業会計収支決算についての監査
- 令和5年12月 7日 ○令和5年度上期事業並びに社会福祉事業会計収支状況についての監査

【内部監査】

- 令和5年 5月16日、17日
- 令和5年11月24日、27日、28日

【委嘱会計事務所による会計指導】

- 令和5年 5月 2日 ○令和4年度収支決算に係る会計指導
- 令和5年11月28日 ○令和5年度上期収支状況に係る会計指導
- ※あおぞら税理士法人（郡山市）

(3) 評議員選任・解任委員会

- 令和5年 5月13日 **【書面開催】**
○評議員（補欠）の選任について
- 令和5年11月15日 **【書面開催】**
○評議員（補欠）の選任について

(4) 苦情解決第三者委員会

- 令和6年 3月13日 ○令和5年度苦情受付状況報告

(5) 役員及び評議員候補者推薦委員会

- 令和5年 4月25日 **【書面開催】**
○理事候補者推薦者の選考について
- 令和5年 5月22日 ○理事及び監事候補者推薦者の選考について
- 令和5年 9月25日 ○評議員候補者推薦者の選任について

(6) 正副会長会議

- 令和5年 5月31日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について
- 令和5年12月13日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について
- 令和6年 3月12日 ○理事会、評議員会提出議案の協議について

(7) 役員・評議員に対する研修の充実

令和5年 9月30日 ○役員・評議員研修の開催
※成年後見制度講演会への参加

(8) 賛助会員の拡充

例年実施していた賛助会員増強月間（8月）は、新型コロナウイルス感染拡大による経済の低迷を考慮し個別対応に切り替え、個人会員及び取引先で未加入の企業等への勧誘等を行った。

個人会員数 223（730,000円）
企業等会員数 149（2,281,000円）

(9) 第19回喜多方市社会福祉大会の開催

福祉に携わる公私の機関、団体、市民の皆さんが一堂に会し、社会福祉に関する理解を深め、更なる充実に向けた啓発を図る機会とするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝の意を表するため社会福祉大会を開催した。

開催日 令和5年11月22日（水）
会場 喜多方市総合福祉センター
表彰 社会福祉大会長表彰2件、社会福祉大会長感謝5件
県共同募金会長感謝（寄附）15件、（奉仕）29件
優秀作文 5点
記念講演 「がんばっぺ！オラの大好きな日本」
講師 タレント・山形弁研究家 ダニエル・カール 氏
参加者 310名

(10) ふれあい社会福祉講座の開講

第1講 令和5年9月14日（木）

テーマ 「高血圧について」

講師 福島県立医科大学会津医療センター附属病院副院長兼
循環器内科学講座教授 鶴谷善夫氏

参加者 36名

第2講 令和5年9月21日（木）

テーマ 「人口減少社会のまちづくりを考える」

講師 会津大学短期大学部名誉教授・特任研究員 牧田和久氏

参加者 34名

第3講 令和5年9月28日（木）

テーマ 「瓜生岩子の生涯と功績、熱塩温泉の歴史と特徴・効能について」

講師 一般社団法人会津歴史観光ガイド協会理事長 石田明夫氏

参加者 54名

※全講座受講者 18名

(11) 『社協だより』の発行とホームページ・フェイスブックによる情報発信

①社協だより・・・社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付

発行：5月1日、8月1日、10月1日、2月1日

発行部数：18,000部

②情報発信ツールの利活用・・・本会の事業内容を幅広い市民層に周知するためホームページ及びフェイスブックを活用し情報発信した。

※ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>

※フェイスブックアドレスについては本会ホームページ参照

(12) 児童館の活動支援

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館等運営事業に、児童厚生員を配置しその運営支援に努めた。

児童登録状況（令和6年3月末現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	備考
中央	13	33	18	-	-	-	64	
松山	10	15	11	14	3	3	56	
上三宮	4	1	2	2	3	1	13	
岩月	3	8	5	4	4	0	24	
関柴	8	12	8	1	1	0	30	
熊倉	5	7	8	6	5	3	34	
慶徳	8	6	5	5	7	0	31	
豊川	14	9	11	6	2	3	45	
喜多方			4	17	4	1	100	二小 26名
	28	28	18					児童クラブ館 74名
しきみ				15	7	1	102	一小 23名
	26	17	24	12				N T T 79名
計	119	136	114	82	36	12	499	

※旧喜多方市内児童クラブ10館の運営について市から一部受託

(13) 介護職員養成・定着化事業（介護パワーアップ事業）

1) 介護職員初任者研修

地域における介護職員不足の解消を図るため、介護人材の育成を目的として介護初任者研修を実施した。

令和5年7月18日～12月12日 修了者8名

2) キャリアアップ研修支援事業

市内施設勤務の介護職員等の初任者研修受講・実務者研修受講及び介護福祉士の資格取得を促進し、介護職員等の安定的雇用につなげるため研修費用を助成した。

※説明会の開催、説明会資料の郵送により市内介護事業所に周知を図った。

支援実績：初任者研修受講費助成 2件

3) 介護職員就労定着奨励金事業

介護職として市内の同一事業所に1年以上就業した者に対し奨励金を支給した。

市内在住者 19名（1名あたり50,000円）

市外在住者 6名（1名あたり30,000円）

(14) 家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）

在宅で高齢者等を介護する市民の方を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を目的とし、家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

参加者 11名

行先 福島県男女共生センター他

(15) 健康事業所宣言と職員の健康維持向上の取組み

福島県と協会けんぽ福島支部との共催事業である「健康事業所宣言」事業に参加し、今年度のメインプランを「血压」対策とし、職員に対する啓蒙啓発や健康診断後の2次健診の受診勧奨と確認を行った。

(16) 職員の資質向上

福島県社会福祉協議会等が主催する外部研修会への積極的参加と、職制、職種に応じた内部のキャリアパス研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

2. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めるとともに、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター	開館日数	308日	延利用者数	14,619名
多目的ホール	利用回数	216回	延利用者数	6,238名
2階会議室	利用回数	175回	延利用者数	2,584名

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コン

ビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者） 営業日数 206日 延利用者数 43,093名

運動施設（ゲートボール場）利用日数 97日 延利用者数 1,083名

※揚湯ポンプの故障により令和5年11月25日～令和6年3月31日まで休館

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

市内で開催されたイベントでのパンフレット配布や、総合支所及び地区内の公民館にパンフレットを設置するなどし、誘客に努めた。

保養施設（温泉入場者） 営業日数 309日 延利用者数 47,168名

(4) 生活支援ハウス事業（しゃくなげホーム・かたくり荘）

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

山都生活支援ハウス10部屋 3名入居

高郷生活支援ハウス 7部屋 5名入居

3. 介護保険事業

本会介護事業では、介護保険法の趣旨に則り、サービスの利用を制限することなく実施した。

*** 詳細別掲 ***

4. 社会福祉法人が行う主な公益的取り組み

(1) 市内社会福祉法人情報交換会の開催

市内の高齢福祉部門に携わる社会福祉法人等が、相互に連携して地域公益事業に取り組むことを目的とした「喜多方市社会福祉法人等情報交換会」（きたかたふくしネットワーク）を設置し、会議等の開催と年末年始フードドライブ事業に取り組んだ。

第1回会議

開催日 令和5年8月28日（月）

参加者 11名

第2回会議

開催日 令和6年2月20日（火）

参加者 10名

研修会

開催日 令和5年10月24日（火）

研修内容 「社会福祉法人による公益的取組みについて」

講師：県社会福祉協議会人材研修課・主任主査 齋藤奈緒氏

参加者 13名

年末年始フードドライブ事業

寄付物品 1, 774点

(2) いきいき在宅介護サービス

本会介護サービス利用者に対し、日常生活上必要と認められた介護保険適用外並びに区分支給限度額を超過するサービスを低額で提供した。

サービス提供回数 4回

(3) 車椅子同乗車両貸出事業

常時車椅子を利用し、一般車両への乗降が困難な方の社会参加の促進と生活の利便性に資することを目的に、車椅子に乗ったまま乗車ができる車椅子同乗車両の貸出しを行った。

貸出回数 28回

II 地域福祉部門

1. 地域福祉事業

(1) 福祉活動支援金への理解と協力

地域福祉事業の活動財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を要請した。

福祉活動支援金実績額 6, 272, 520 円 (271行政区)

(2) 地域福祉活動計画の推進

市の地域福祉計画と一体的に策定した地域福祉活動計画の理念に向けた活動を充実させるため、実施検討委員会を開催した。また、計画の評価等を所掌する推進委員会を開催した。

実施検討委員会

開催日 令和5年6月27日(火)

委員数 9名

推進委員会

開催日 令和6年3月27日(水)

委員数 6名

(3) おもちゃ図書館事業の推進

絵本や遊具を通して楽しく遊んで頂ける場を提供した。更に、保護者同士の交流を図る機会作りにも努めた。

本所	<u>延利用者数</u>	191名	<u>開館日数</u>	24日
塩川支所	<u>延利用者数</u>	52名	<u>開館日数</u>	23日
計	<u>延利用者数</u>	243名	<u>開館日数</u>	47日

・子育て支援事業

子育てイベントの実施

おもちゃ図書館において、本所・支所ごとに季節のイベントを実施した。

- ・七夕製作・人形劇 9名参加
- ・水遊び 8名参加
- ・親子交通安全教室 4名参加
- ・ハロウィン製作 8名参加
- ・キッズ運動会 19名参加
- ・クリスマス製作、リズム遊び 32名参加
- ・エプロンシアター・豆まき 22名参加
- ・ミニゲーム 19名参加

キッズスペースの設置

子どもや子育て中の保護者同士が、おもちゃ図書館開館以外の日でも遊べる場所、交流できる場所として、総合福祉センター及び塩川いきいきセンター内にキッズスペースを設置した。

- ・本 所 日曜日～金曜日 9時00分～16時30分
延利用者数 133名
- ・塩川支所 火曜日～金曜日 9時00分～16時00分
延利用者数 54名

(4) 日常生活自立支援事業

日々の生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が、地域で安心して暮らすために、福祉サービスの利用に向けた相談援助や日常的な金銭管理等を支援し、権利擁護の推進を図った。

3月末契約件数	11件
支援回数	536回
支援時間	412時間

(5) ふれあいきたかた社協まつりの開催

幅広い世代の地域住民が気軽に参加できる「まつり」を開催することにより、参加者が社会福祉協議会及び共同募金活動を身近に感じて頂き、地域における更なる理解の浸透を図ることを目的として開催した。

開催日	令和5年9月30日(土)
会場	喜多方市総合福祉センター
内容	成年後見講談、高齢者擬似体験、デイサービス体験、福祉車両乗車体験、非常時体験コーナー、福祉バザー等
来場者	144名
福祉バザー等寄付金総額	41,340円

(6) 法人後見事業

本会自らが成年後見人等となり、判断能力が不十分な方の財産管理及び身上保護を行うことにより、被後見人の権利を擁護する法人後見事業を実施した。

後見類型	1件
支援回数	28回
支援時間	19時間

また、法人後見業務の実施にあたり、指導及び助言を行う法人後見運営委員会を開催した。

開催日	令和6年2月27日(火)
委員	6名

(7)「ふれあいいいききサロン」の開設（44箇所）

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいいききサロン」の開設と運営を支援した。

松が丘いきいきサロン	喜多方	桜ガ丘いきいきサロン	喜多方
村松三区いきいきサロン	喜多方	清水台いきいきサロン	喜多方
関柴地区いきいきサロン	喜多方	東四ッ谷いきいきサロン	喜多方
ひばりが丘いきいきサロン	喜多方	上三宮二区いきいきサロン	喜多方
渋井いきいきサロン	喜多方	寺町いきいきサロン	喜多方
花園いきいきサロン	喜多方	譲屋いきいきサロン	喜多方
桜町ふれあいサロン	喜多方	菅原町ユーアイサロン	喜多方
幸町いきいきサロン	喜多方	栄町いきいきサロン	喜多方
上町いきいきサロン	喜多方	いなだいきいきサロン	喜多方
吉沢いきいきサロン華夢里	喜多方	いきいきサロンぬりもの町	喜多方
坂井いきいきサロン	喜多方	ふれあいサロン上三宮一区 ※	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロンたんぼぼ	熱塩加納
半在家いきいきサロン	熱塩加納	柴城地区いきいきサロン	塩川
上窪地区いきいきサロン	塩川	別府いきいきサロン	塩川
塩川地区いきいきサロン	塩川	田中いきいきサロン	塩川
竹屋いきいきサロン	塩川	金森いきいきサロン	塩川
深沢いきいきサロン ※	塩川	上原あじさいの会 ※	塩川
広野いきいきサロン	山都	藤沢いきいきサロン	山都
ふなひきいきいきサロン	山都	小布瀬原いきいきサロン	山都
千咲原いきいきサロン	山都	館原いきいきサロン	山都
寺内いきいきサロン	山都	上林いきいきサロン	山都
洲谷いきいきサロン※	山都	西黄地区いきいきサロン	高郷

※は今年度に設立されたサロン（4カ所）

レクリエーションなどの情報提供や意見交換の場を設けることで、サロン活動の充実と継続を支援するため、いきいきサロン世話人連絡会を開催した。

開催日 令和6年2月22日（木）

参加者 39名

(8) 福祉活動交付金事業（ミニサロン等交付事業）

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築くいきがづくり事業や交流事業等に対して交付金を交付し、活動の支援を図った。

ミニサロン等事業 17カ所 喜多方地区10カ所、熱塩加納地区3カ所、塩川地区3カ所、山都地区1カ所

交流事業 10カ所 喜多方地区4カ所、熱塩加納地区2カ所、塩川

地区3カ所、高郷地区1カ所

交付総額 264,000円

(9) 高齢者生きがい対策事業（陶芸教室の開催）

塩川生きがいセンターを拠点に陶芸教室を開催し、高齢者のいきがいを支援した。

会員数 27名（延べ 433名） 活動日数 96日

(10) 福祉と介護の出張講座

喜多方市内の学校や公民館、福祉団体等の要請に応じ、福祉や介護に関する講座等に職員の派遣を行った。

塩川公民館	令和5年 9月23日（土）	派遣職員	2名
慶徳公民館	令和5年10月10日（火）	派遣職員	2名
喜多方高等学校	令和5年12月 4日（月）		
	6日（水）		
	7日（木）	派遣職員延	10名
長泉寺	令和6年 2月22日（木）	派遣職員	2名
会津農林高等学校	令和5年 7月18日（火）	派遣職員	1名
	9月 5日（火）	派遣職員	1名
	10月17日（火）	派遣職員	1名
	11月14日（火）	派遣職員	1名
会津農林高等学校	介護初任者研修講師	派遣職員延	15名

(11) 災害時における災害ボランティアセンターの運営

令和5年9月8日に発生した台風第13号に伴う水害により被災したいわき市に、災害ボランティアセンター運営の補助として、「福島県・市町村社会福祉協議会における災害時相互支援に関する協定」に基づく要請により、職員を派遣した。

派遣人数 6名

派遣日数 延24日

本会と災害支援協定を締結する会津喜多方青年会議所及び会津喜多方ライオンズクラブと災害支援に係る関係者連携会議を開催した。

開催日 令和6年3月27日（水）

参加者 8名

(12) 災害、感染症等による非常・緊急事態における市民生活への支援

市内における災害等に備え備品等の点検・確認を行い適切な管理に努めた。

(13) 火災等見舞金交付事業

火災等の災害被災者に対し、地域福祉の住民相互のたすけあいの趣旨に基づき見舞金を交付した。

火災（全焼） 3世帯（1世帯あたり20,000円）

(14) 支部社協事業の活動支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

(15) 福祉人材の育成支援

社会福祉士等資格取得のため、大学等からの依頼に応じ実習生の受入れを行った。

(16) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会
- 2) ふれあい福祉協議会
- 3) 老人クラブ連合会
- 4) 赤十字奉仕団
- 5) 日本赤十字社有功会
- 6) 手をつなぐ親の会
- 7) 身体障がい者福祉会
- 8) 福島いのちの電話
- 9) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 10) 更生保護協議会
- 11) 遺族連合会

(17) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の通院や家族旅行等、短期間の車椅子使用に対する支援として、車椅子の無料貸出しを行った。

貸出回数64回

※本所42回、熱塩加納2回、塩川支所14回、山都支所6回

(18) 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

大熊町をはじめ、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により避難を余儀なくされている方に対し、喜多方市総合福祉センター2階に情報スペースを設置し、情報の提供に協力した。

2. ボランティアセンター事業

(1) 福祉ボランティアのコーディネート

地域の福祉ボランティアの活動拠点として、既存のボランティア団体の運営支援やボランティア事業を継続して実施した。また、本会のボランティアが安心して活動できるようボランティア活動保険の加入手続きを継続して実施した。

(2) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

喜多方市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校を指定し、校内におけるボランティア活動を積極的に推進した。(市内小・中学校及び高等学校)

市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校
喜多方高校、会津農林高校耶麻校舎

(3) サマーショートボランティアスクールの実施

高齢者や妊婦等の様々な疑似体験により相手の立場を理解するとともに、ボランティア体験を通して、「福祉」や「ボランティア」について学んだ。その中で「気づき」や新しい自分を発見し「福祉の心」を育んだ。

本 所	参加者	高校生	10名		
熱塩加納支所	参加者	中学生	13名		
塩川支所	参加者	中学生	3名		
山都支所	参加者	中学生	1名	小学生	1名

(4) コミスクしおかわの開催

夏休み期間の塩川いきいきセンター休館日を利用し、小学生を対象に学習や交流の場の提供を目的としたコミスクしおかわを開催した。

参加者 7名

(5) 傾聴ボランティア事業

ボランティア活動の基礎となる聴き方や、聴くことの大切さを再確認し、資質向上の機会とするためスキルアップ研修を実施した。

開催日 令和5年8月4日(金)

参加者 22名

また、高齢者福祉施設でのボランティア受入状況を鑑み、傾聴ボランティアのコー

ディネートは中止としたが、令和6年度からのボランティア活動再開に係る意向調査を傾聴ボランティア、受入施設に対して実施した。

(6) 除雪ボランティア事業

地域での支え合いの推進とボランティア活動への理解を深めるため、除雪ボランティア事業を実施した。

地 区	実 施 日	対象件数	参加者
喜多方地区	積雪が少なく中止	—	—
熱塩加納地区	積雪が少なく中止	—	—
塩川地区	令和6年 1月20日(土)	2世帯	11名
山都地区	積雪が少なく中止	—	—
高郷地区	積雪が少なく中止	—	—

(7) 朗読・点訳ボランティア事業

視覚障がい者に対し、朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、「広報きたかた」をカセットテープに録音し、『声の広報』として希望者に郵送した。また、「物語」も朗読・録音し希望者に送付した。

送付回数 7回

利用者数 2名

ボランティア登録者数 9名

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

毎月1回・会員数5名

(8) 福祉レクリエーションボランティア事業

市内のサロン及びミニサロン等を主な活動の場としている福祉レクリエーションボランティアのコーディネートを実施した。また、ボランティアのスキル向上を目的としたスキルアップ研修やボランティア同士の情報交換会を実施した。

ボランティア登録者数 18名(5グループ)

ボランティア活動回数 34回

スキルアップ研修

開催日 令和5年7月25日(火)

参加者 16人

情報交換会

開催日 令和6年1月30日(火)

参加者 17人

(9) 子育て支援ボランティア事業

本会で実施しているおもちゃ図書館を活動の場として、子育てボランティアのコーディネートを実施した。

ボランティア登録者数 3名

ボランティア活動回数 6回

(10) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて』の発行

喜多方市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、福祉作文集『ちいさなて vol. 18』の発刊に向けて、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文集を発行した。

また、優秀作品については第19回喜多方市社会福祉大会の席上において朗読発表した。

(11) ボランティア団体等との連携及び育成支援

喜多方、熱塩加納、塩川、山都、高郷の5赤十字奉仕団が実施する地域でのボランティアや人道支援活動に対し、協力及び運営支援を行うとともに、喜多方市ボランティア連絡協議会との連携を深め、その活動を支援した。

(12) 収集ボランティア（エコキャップ等）

1) エコキャップの収集

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための活動を行った。

寄託を受けたエコキャップ 1,963kg（ポリオワクチン換算981人分）

2) 不要入れ歯の収集

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会が行っている、不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属を、ユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立つ活動に協力した。

精製貴金属量 19.8g（27,016円）

(13) 寄付本による募金事業

家庭にある不要になった本などを寄付していただき、買取業者で換金し共同募金に寄付をする仕組みにより、社会福祉協議会や共同募金に対する理解促進を図った。

寄付物品数 1,504点 募金実績 23,786円

(14) 能登半島地震災害義援金街頭募金活動

1月1日に発生した能登半島地震への支援として、ボランティアの協力により市内スーパー3店舗において街頭募金活動を実施した。

募金ボランティア 喜多方第三中学校生徒・教員 16名

民生児童委員 4名

募金額

130,883円

3. 生活支援体制整備事業

(1) 第2層の生活支援コーディネーター業務

地域における支え合いのまちづくりを推進するため、生活支援コーディネーター5名を配置し、地域の生活実態、地域ニーズの把握に努めた。

(2) 第2層協議体（生活支援支え合い会議）の設置と運営支援

1) 新規設置へ向けた立ち上げ支援

関係機関・団体へ、第2層協議体の新規設置に向けた協議を進めた。

松山地区生活支援支え合い会議 令和5年4月1日設立

豊川地区生活支援支え合い会議 令和5年11月3日設立

堂島地区生活支援支え合い会議 令和6年2月8日設立

行政区長会、民生児童委員定例会、いきいきサロン等での事業説明 46件

2) 生活支援支え合い会議の運営支援

・会議への出席

熊倉地区	7回	慶徳地区	5回
熱塩加納地区	9回	岩月地区	11回
山都地区	5回	塩川地区	10回
駒形地区	7回	松山地区	6回
高郷地区	6回	豊川地区	3回
上三宮地区	6回	堂島地区	1回
関柴地区	6回		

(3) 住民組織との連携及び支援

地域の生活課題や地域資源を把握するとともに、サロン等の活動を支援するため、住民組織や関係機関との連携及び関係形成に努めた。

関係機関が実施する事業・会議への出席 133件

いきいきサロン等への運営支援 148件

広報紙による広報・啓発活動 4件

4. 喜多方市高齢者生産活動センターの管理運営

「喜多方市生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティーが一層拡大されるよう会員の加入促進及び地域との交流推進として体験教室を実施した。

また、それぞれのグループで研修会を開催し、技術の向上に取り組んだ。

会員登録者数 122名（※昨年度126名）

5. 日本赤十字社への協力

人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力、災害時の救援物資の配分、献血事業推進等への協力を行った。

社資実績額	6, 5 4 7, 6 2 5 円
目標達成率	9 0 %
災害時救援物資配分件数	2 件

6. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会をはじめ、多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっている本運動に協力した。

共同募金実績額	7, 4 7 0, 0 5 0 円
歳末たすけあい募金実績額	4, 2 0 3, 5 3 9 円

街頭募金

実施日 令和5年10月 2日（月）

募金ボランティア	第一中学校 5名
	第二中学校 6名
	第三中学校 11名
	塩川中学校 3名

実施日 令和5年10月14日（土）

募金ボランティア	第一小学校 6名
	第三小学校 1名
	第一中学校 6名
	第三中学校 4名
	喜多方高校 5名
	喜多方桐桜高校 4名
	喜多方市ボランティア連絡協議会 4名

募金箱の設置

本会本所・各支所、市本庁・各総合支所、市内スーパー等 27カ所

7. 災害義援金

全国各地で発生した自然災害による被災地の復興支援のため、災害義援金を募集し、日本赤十字社及び共同募金会を通じて義援金の協力を行った。

令和5年5月能登地方地震災害義援金	6 5, 4 3 1 円
令和5年6・7月大雨災害義援金	9 3, 8 1 4 円
令和5年台風第13号災害義援金	5 8, 5 3 2 円
令和6年能登半島地震災害義援金	4, 4 4 5, 4 6 7 円

8. 海外救援金

海外で大規模な災害や紛争など緊急事態が発生した際に、被災地の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動を支援するための救援金について募集の協力を行った。

2023年トルコ・シリア地震救援金	184,340円
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	13,079円

Ⅲ 相談支援部門

1. 市民総合相談（心配ごと相談）窓口

（1）心配ごと相談事業

日常生活で抱えている悩みや心配ごとの解決に向けた相談支援を行った。

受付件数 27件（本所24件、高郷支所3件）

※地域包括支援センター、生活サポートセンター、各ケアプランセンター、成年後見相談センターが受け付けた専門相談を除く。

（2）小口生活援助資金貸付事業

低所得者の緊急な経済的問題を解決し、安定した生活が送れるよう資金を貸し付け、必要な援助指導を行った。

貸付件数 62件（ 2,936,000円）

（3）生活福祉資金貸付事業

福島県社会福祉協議会の事業である生活福祉資金の申し込み窓口として、相談支援及び申込受付を行った。

貸付件数 13件（ 4,867,000円）

（4）高額療養費貸付事業

実績なし

（5）フードバンク事業

企業・団体、市民から寄付いただいた多くの食料品や日用品を備蓄し、生活困窮世帯等に提供した。

主な協力企業・団体

コープ東北サンネット事業連合、コープあいづ、(株)カーブスジャパン

ダイナムグループ、東洋羽毛北部販売(株)、きたかたふくしネットワーク

提供実績 100世帯（延べ222回）

※うち、年末フードBOX（食料・日用品の詰め合わせ）提供 11世帯

2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）

高齢者の方々が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取り組むとともに、総合相談及び支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を積極的に推進した。また、喜多方市高齢福祉課との連携を密にし、虐待や認知症等の困難ケースの対応を図った。

相談受付対応実績総数 13,177件 9,245人

※内訳は下記記載

(1) 総合相談支援事業

高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関や制度の利用につなげる等の支援を行った。

相談受付対応 4, 519件

喜多方市高齢者福祉サービス事業の実態調査 162件

(2) 高齢者権利擁護事業

権利侵害を受けている、または受ける可能性が高いと考えられる高齢者等が、地域で安心して尊厳のある生活を送ることができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に行った。

相談受付対応 486件

権利擁護に関する定例会議 12回

その他居宅訪問による啓発活動

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の高齢者等が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、市内の介護支援専門員がそれぞれの高齢者の状況や変化に応じた支援を適正かつ継続的にできるよう、地域や高齢者の福祉環境を整えるとともに介護支援専門員へのサポートを行った。

相談受付対応 107件

居宅部会の運営支援 4回

主任介護支援専門員部会の運営支援 4回

ケアマネ相談室の開催 13回

短期入所サービスの長期利用及び院内介助の検討会 10回

介護保険事業所合同研修会の開催 2回（66事業所の参加）

居宅訪問による啓発活動 1回

自己評価の実施と評価、結果内容の検討 2回

(4) 地域包括支援ネットワークの構築

介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサポート等のさまざまな社会資源が有機的に連携することができる体制づくりを図った。

地域包括支援センター連絡会 11回

地域包括支援センター運営協議会 1回

民生児童委員協議会定例会 146回

各種専門会議、専門職研修会等 70回

介護相談員定例会 7回

地域密着型サービス事業所運営推進会議 74回

介護保険サービス事業者部会の開催 24回
 広報紙「地域包括支援センターだより」の発行 2回
 街かど相談室 6回
 地域からの要請に応じた職員の派遣 15回

(5) 地域ケア会議

地域の高齢者やその家族が生活するうえで抱える課題を、当事者や介護支援専門員、行政担当者、リハビリや医療の専門家など多職種がそれぞれの視点で話し合い、解決策を探るための地域ケア会議を開催した。

個別ケア会議 8回
 包括ケア会議（困難事例型・自立支援型） 5回（10ケース）

(6) 介護予防支援事業

高齢者が要介護状態になることの予防や要支援・要介護状態になっても状態の改善・維持・悪化の遅延が図れるよう、啓発や相談体制の充実、介護予防支援を行っている。

相談受付対応 8,065件
 介護予防計画作成件数 6,592件（うち委託件数1,397件）
 介護予防の推進（介護予防教室等） 18回（参加人数248人）

3. 生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業（生活サポートセンター）

生活困窮者自立支援制度に基づき、喜多方市委託事業として生活サポートセンターを設置し、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談及び就労支援に取り組むとともに、生活費の支払いや負債等の相談に応じ、健全な家計に向けての支援を行った。

- (1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業
- (2) 家計改善支援事業

新規相談	62名
新規支援申込	38名
自立支援プラン 策定件数	31件
	家計再生プラン 11件
就労決定件数	19件

※プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応を図った。

- (3) 住居確保給付金の申請に係る相談、受付事務
 住居確保給付金決定件数 11件
- (4) 支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、関係者が情報を共有するとともに、支援計画や支援方針を検討協議した。

開催回数 12回

(5) 就労体験事業

引きこもりや障がいなどから一般就労が難しい方々に対し、労働や他者とのコミュニケーションを図る機会として、また、生活リズムを整え一般就労に向けた契機とするため、本会が行う事業や市内施設での軽作業の場を提供した。

就労体験事業実績 延べ47名(39回実施、実人数7名)

体験内容 フードバンク仕分け、米の袋詰め、パンフレットシール貼り等

(6) 「こども食堂」等への支援と連携

「こども食堂」(2箇所)、子どもの居場所「れんが」との情報の共有を図り、未就学児・児童等を抱える生活困窮世帯への支援につなげるためフードバンクを通じて食料品の提供を行った。

こども食堂(しおかわ子ども食堂) 12回

子どもの居場所「れんが」 12回

4. 成年後見制度利用促進事業<成年後見制度中核機関・成年後見相談センター>

(1) 成年後見制度の周知・広報啓発

1) リーフレット・パンフレットの作成と関係機関への配布

リーフレット、パンフレットを作成し、民生児童委員や医療機関、介護施設等に配布し広報啓発に努めるとともに、来談者への説明に使用した。

2) きたかた社協だより掲載による広報

社協だより Vol. 67(令和5年5月1日発行)、Vol. 68(令和5年8月1日発行)、Vol. 69(令和5年11月1日発行)、Vol. 70(令和6年2月1日発行)に広報啓発記事を掲載し、市内全戸並びに関係機関等へ配布した。

3) セミナーの開催

成年後見制度の正しい理解と、身近に感じていただくため市民向けの講演会を開催した。

日時 令和5年9月30日(土) 9時45分~10時45分

会場 喜多方市総合福祉センター多目的ホール

参加者 70名(市民、関係者)

内容 【成年後見講談】

「講談で知ろう! 成年後見制度」講談三話

講師: 講談師 神田 織音氏

4) 関係機関向け成年後見制度の説明

塩川町民生児童委員協議会 令和5年8月7日(月)

喜多方市民生児童委員連合会会長連絡会 令和5年11月29日(水)

NPO法人富夢富夢・塩川親の会合同研修会 令和6年1月24日(水)

(2) 成年後見制度に関する相談受付

	実件数	延件数			
相談件数	15件	45件			
区分		相談	情報提供	連絡調整	その他
面談		10	2	1	1
電話		8	3	10	5
訪問		3			
その他				2	

(3) アセスメント・支援方針検討業務

1) 成年後見サポート会議の開催

要支援者の権利擁護に向けた適切な支援方策の検討と、成年後見制度の適正利用を図るため、有識者、関係機関による成年後見サポート会議を開催した。

メンバー 司法書士、地域包括支援センター、基幹相談支援事業所、

高齢福祉課いきがい支援班、社会福祉課障がい福祉係、中核機関

ゲストメンバー 当該ケース関係者（医療機関、福祉施設、ケアマネなど）

開催回数 3回

検討ケース 8件（延）うち申立適当4件（市長申立4件）

2) 相談支援機関との調整、支援方法の検討

地域包括支援センターや基幹型相談支援事業所等からの相談、情報提供に対し、要支援者の状況等を把握し、課題解決に向けた支援方法の検討を行った。

(4) 後見人等の支援

後見人の円滑な支援活動を支援するため、被後見人のこれまでの生活状況等の情報提供並びに、被後見人宅への同行訪問を行った。

(5) 相談支援体制の充実と職員の資質向上

兼務体制ではあるが相談対応できる職員を1名増員し体制強化を図るとともに、権利擁護担当者会議（月1回）に参加し市主管課、総合支所担当者、地域包括支援センター職員との情報共有、ケース検討を重ね担当職員の資質向上に努めた。